



## 2022年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年9月8日

上場会社名 株式会社 アルトナー

上場取引所 東

コード番号 2163 URL <https://www.artner.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 相三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 張替 朋則

TEL 06-6445-7551

四半期報告書提出予定日 2021年9月10日

配当支払開始予定日

2021年10月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年1月期第2四半期の業績(2021年2月1日～2021年7月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	3,980	8.9	566	19.2	580	20.8	420	26.3
2021年1月期第2四半期	3,654	8.0	475	11.3	480	11.1	332	11.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	39.53	
2021年1月期第2四半期	31.29	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第2四半期	4,853	3,421	70.5
2021年1月期	4,432	3,123	70.5

(参考)自己資本 2022年1月期第2四半期 3,421百万円 2021年1月期 3,123百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期		11.50		11.50	23.00
2022年1月期		14.00			
2022年1月期(予想)				14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2022年1月期の業績予想(2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,994	11.4	930	4.9	952	4.6	677	7.8	63.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年1月期2Q	10,627,920 株	2021年1月期	10,627,920 株
期末自己株式数	2022年1月期2Q	2,376 株	2021年1月期	2,376 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年1月期2Q	10,625,544 株	2021年1月期2Q	10,625,580 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページ(<https://www.artner.co.jp/ir/>)に掲載いたします。また、当社は、2021年9月22日(水)に個人投資家の皆様向けに、事業・業績に関するオンライン説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料及び主な質疑応答は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。当日の詳細、参加方法等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありますが、自動車業界においては、CASEや政府の「脱炭素」方針に対応するための電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）の研究開発が顕著であり、半導体業界においては、自動車の電動化、IoT、テレワーク等で使用する電子機器類に必要な半導体及び半導体製造装置の設計開発が活発でした。

このような状況の中、当社の技術者派遣事業においては、技術者数は前年同期を上回り、稼働率は前年同期と同水準となりました。2020年入社の新卒・キャリア技術者の未配属者については、上期に配属が完了する計画であったものの、一部、下期に後ろ倒しとなりました。一方、2021年入社の新卒技術者については、年初に第4四半期での配属計画を組んでいたものの、計画より前倒しの上期に配属が進捗いたしました。これらの結果、稼働人員は前年同期を上回りました。既存の技術者の業務実績を踏まえた顧客企業との単価交渉により、技術者単価は前年同期を上回りました。残業時間が回復したことにより、労働工数は前年同期を上回りました。

請負・受託事業においては、積極的な営業展開により、受注プロジェクトへの配属者数が増加いたしました。

利益面においては、採用活動、営業活動において、スタッフのテレワークを推進したことにより、旅費交通費、会議費等の費用が減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,980,588千円（前年同期比8.9%増）、営業利益は566,769千円（前年同期比19.2%増）、経常利益は580,442千円（前年同期比20.8%増）、四半期純利益は420,004千円（前年同期比26.3%増）となりました。また、営業利益率は14.2%となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ421,234千円増加し、4,853,548千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加241,565千円、売上債権の増加176,255千円があったことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ122,886千円増加し、1,432,017千円となりました。これは主に、預り金の増加46,928千円、退職給付引当金の増加40,181千円、未払法人税等の増加32,711千円があったことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ298,348千円増加し、3,421,530千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加297,810千円があったことによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ241,565千円増加し、3,261,223千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、326,965千円（前年同期比44,029千円減）となりました。これは主に、売上債権の増加額176,255千円、法人税等の支払額167,618千円があったものの、税引前四半期純利益605,965千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、36,286千円（前年同期は44,091千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入43,779千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、121,686千円（前年同期比10,963千円増）となりました。これは、配当金の支払額121,686千円があったことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

市場環境に関して、年間を通じたコロナ禍の状況の継続を想定しており、コロナ禍の収束時期、顧客企業からの技術者要請の状況により、業績予想の前提が変わってまいります。

第2四半期累計期間の売上高は、当初予想に対して、稼働人員、技術者単価、労働工数が順調に推移し、これらの総合的な増加により増収となりました。また、利益面では、売上高の増収に加え、当初予想に対して、スタッフのテレワーク推進等による販売管理費の削減効果により増益となりました。

業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績動向に併せて、2020年入社の新卒・キャリア技術者の未配属者の配属、2021年入社の新卒技術者の早期配属が順調に推移する見通しにより、売上、利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。これらを踏まえ、2021年3月15日に公表いたしました通期の業績予想を修正し、営業利益、経常利益、当期純利益を減益から増益に転換しております。詳細につきましては、2021年9月8日に公表いたしました「業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,019,657	3,261,223
受取手形及び売掛金	895,926	1,072,181
仕掛品	992	4,530
原材料及び貯蔵品	4,383	3,759
その他	46,993	60,035
貸倒引当金	△5,300	△6,400
流動資産合計	3,962,653	4,395,331
固定資産		
有形固定資産	106,873	87,609
無形固定資産	49,447	43,853
投資その他の資産		
敷金及び保証金	85,114	85,118
その他	228,224	241,634
投資その他の資産合計	313,338	326,753
固定資産合計	469,659	458,216
資産合計	4,432,313	4,853,548
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	182,239	214,951
賞与引当金	116,787	116,537
その他	506,061	556,305
流動負債合計	805,088	887,793
固定負債		
退職給付引当金	504,042	544,224
固定負債合計	504,042	544,224
負債合計	1,309,131	1,432,017
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	238,284	238,284
資本剰余金	168,323	168,323
利益剰余金	2,713,610	3,011,420
自己株式	△739	△739
株主資本合計	3,119,478	3,417,288
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,704	4,242
評価・換算差額等合計	3,704	4,242
純資産合計	3,123,182	3,421,530
負債純資産合計	4,432,313	4,853,548

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
売上高	3,654,381	3,980,588
売上原価	2,246,161	2,478,448
売上総利益	1,408,220	1,502,139
販売費及び一般管理費	932,565	935,370
営業利益	475,654	566,769
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	127	150
受取手数料	303	304
研修教材料	512	579
保険配当金	2,931	6,048
助成金収入	250	6,019
その他	873	1,170
営業外収益合計	5,001	14,273
営業外費用		
解約違約金	96	372
その他	0	227
営業外費用合計	96	600
経常利益	480,560	580,442
特別利益		
固定資産売却益	—	25,523
特別利益合計	—	25,523
特別損失		
固定資産除却損	473	0
特別損失合計	473	0
税引前四半期純利益	480,087	605,965
法人税、住民税及び事業税	157,123	198,981
法人税等調整額	△9,508	△13,020
法人税等合計	147,614	185,961
四半期純利益	332,472	420,004

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2020年2月1日 至 2020年7月31日）	当第2四半期累計期間 （自 2021年2月1日 至 2021年7月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	480,087	605,965
減価償却費	14,570	14,076
貸倒引当金の増減額（△は減少）	200	1,100
賞与引当金の増減額（△は減少）	△14,613	△250
退職給付引当金の増減額（△は減少）	48,298	40,181
受取利息及び受取配当金	△129	△151
固定資産売却益	—	△25,523
未収入金の増減額（△は増加）	△2,547	△5,339
売上債権の増減額（△は増加）	△23,696	△176,255
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,835	△2,915
未払消費税等の増減額（△は減少）	△32,980	△36,981
未払金の増減額（△は減少）	29,055	24,451
その他	41,621	56,072
小計	538,030	494,432
利息及び配当金の受取額	129	151
法人税等の支払額	△167,165	△167,618
営業活動によるキャッシュ・フロー	370,995	326,965
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△36,307	△3,909
有形固定資産の売却による収入	—	43,779
無形固定資産の取得による支出	△7,862	△3,566
敷金及び保証金の差入による支出	△185	△64
敷金及び保証金の回収による収入	340	60
投資有価証券の取得による支出	△64	—
その他	△13	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,091	36,286
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△41	—
配当金の支払額	△110,681	△121,686
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,722	△121,686
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	216,180	241,565
現金及び現金同等物の期首残高	2,383,441	3,019,657
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,599,622	3,261,223

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。